

「つながる はじまる なかの」の実現に向けて

基本構想は、中野区に住み、働き、学び、活動する人々にとって、平和で、より豊かな暮らしを実現するための共通目標であり、区政運営の基本となるものです。

前回の改定から約5年が経過し、全国各地で大きな被害を及ぼす自然災害の発生、新型コロナウイルス感染症の感染拡大、デジタル技術の急速な進展など、社会状況は大きく変化しており、人々のニーズや価値観もさらに多様化しています。また、今後さらに進んでいく少子高齢化や人口減少に対しても、将来を見通した様々な対策に取り組んでいかなければなりません。

こうした環境の変化を踏まえ、どんな時代でも安全で安心できる暮らしを守り、中野の個性やにぎわいを次の世代に確実につないでいくとともに、基本構想に対して親しみや共感を持っていただけるよう、よりわかりやすい内容に改定しました。

新しい基本構想では、中野の最大の財産を「人」として、10年後に目指す中野のまちの将来像を「つながる はじまる なかの」として描きました。中野区では、子どもから高齢者まで、様々な価値観を持った人々が住み、働き、学び、活動しています。こうした人々が暮らし、交流し、人とまちがつながることで、新たな生活やチャレンジが始まり、活力が生まれ、発展していくまちを目指しています。

改定に向けた検討にあたっては、基本構想審議会において、約半年にわたり活発な議論を重ねていただきました。また、区民と職員のワークショップ、区民アンケート、区民と区長のタウンミーティング、さらには区議会、区内団体の皆様からのご意見など、様々な機会を通じて、大変多くの区民参加を得ながら進めることができたことに、心より感謝申し上げます。

中野をより良いまちにしていくため、区民の皆様をはじめ、中野区とつながりのある人々との協働・協創を深めながら、人々の交流とチャレンジにあふれた「つながる はじまる なかの」の実現に向けて、全力で取り組んでいきます。

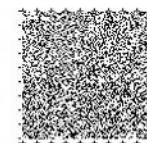
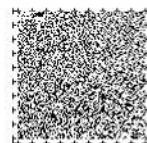
令和3年(2021年)10月

中野区長 酒井直人

小・中学生の絵画作品について

中野区立小・中学校の児童・生徒に、「未来の中野のまちの姿」をテーマとした絵画作品を描いてもらいました。この冊子に掲載し、紹介しています。子どもたちの描いた未来の中野の姿をご覧ください。

※作品は、2019年から2020年にかけて制作されました。学校名は、作品制作時点での名称を記載しています。





「自然ゆたかな町」
中野区立江古田小学校
志知 紫瑠



「みらいの中のく 電しんばしらがなくて
どうろがうごく町」
中野区立鷺宮小学校
白鳥 照善

中野区基本構想

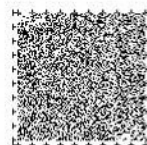
1 改定の背景



「未来のまちにも自然がいっぱい」
中野区立上高田小学校
香川 琥太郎



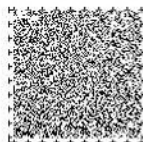
「未来の車」
中野区立上高田小学校
松崎 梓寿



33万人を超える区民が暮らし、商業や文化などの活動を通じて、多くの人々が集い、交流する多様な機能が調和するまち、中野。

近年、我が国は、人口減少・超高齢社会という、どの国も経験したことのない時代に突入しており、こうした人口構造の変化は、将来的には、地域経済や中野区の財政、地域コミュニティの活力に深刻な影響を与えることが予測されます。また、気候変動の影響とみられる記録的な規模の台風などによる水害や、大規模な地震などの災害が全国各地で発生し、人々の生命・財産に甚大な被害を与えています。中野区においては、局地的集中豪雨による内水氾濫などの都市型水害が発生しています。また、狭あい道路や木造住宅密集地域が多いことから、災害時における被害の拡大が懸念されます。これらの課題に対しては、これまでも着実に対策を進めてきていますが、今後、更なる対策を進めていくことが求められます。

さらに、令和2年（2020年）、新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、世界は歴史的な危機に直面しました。国内や地域社会に目を向けると、人々の生命や健康に限らず、日常生活における外出や移動、学校教育、地域経済、地域医療など様々な分野にその影響を及ぼし、感染者等に対する差別や偏見なども生まれています。一方、新型コロナウイルス感染症の収束・共生に向け、産業構造や働き方、住まい方、人と人とのコミュニケーションのあり方など、新しい生活様式への移行が進み、家庭・生活を重視する意識が高まるなど、社会全体の価値観や行動の変化が生まれており、区政運営においても対応が求められます。



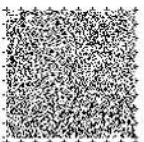
中野区は、若年層の転入者が多く、近年は外国人住民が急増しており、約120の国と地域の人など、多世代にわたり、様々な人が暮らし、訪れ、活躍するダイバーシティ（多様性）にあふれたまちです。また、伝統的な文化・芸術活動が根付くとともに、お笑い、演劇、ライブ・コンサートなどのエンターテインメントにあふれた活動が活発に行われ、多くの人々が夢や希望を抱くとともに、漫画やアニメなどのサブカルチャーの宝庫として、国内外にその魅力と独自の文化を発信し続けています。

中野駅周辺のまちづくりの進展など、今後の10年間は、新たな中野の未来を創る大きなチャンスの時期です。さらに、AI*、IoT*、ビッグデータ*の活用などが急速に進み、社会のあらゆる場面で、デジタル革命が進展しており、区民の快適な暮らしを実現するとともに、学校教育、高齢者などの見守り、相談支援への活用など、質の高い行政サービスの提供につなげていくことが求められます。

このような時代において、私たちは、安全で安心な暮らしを守りながら、中野が持つ多様な資産とまちのにぎわいを次の世代に確実につないでいくため、人々の地域への関わりとつながりのあり方を改めて見つめ直していくとともに、一人ひとりが力を発揮し、それをまちの力に変えていく必要があります。

これまで培ってきた歴史、文化、伝統、まちの魅力を大切に育みながら、人々が寄り添い、より豊かな暮らしを実現するため、新たに、私たちの共通の目標である中野区基本構想をここに定め、ともに歩んでいきます。

AI：人工知能「Artificial Intelligence」の略称。言語の理解や推論、問題解決などの知的行動を人間に代わってコンピュータに行わせる技術。
IoT：「Internet of Things」の略称。コンピュータなどの情報・通信機器だけでなく、世の中に存在する様々な物体（モノ）に通信機能を持たせ、インターネットに接続したり相互に通信することにより、自動認識や自動制御、遠隔計測などを行うこと。
ビッグデータ：一般的なデータ管理・処理ソフトウェアで扱うことが困難なほど巨大で複雑なデータの集合体のこと。





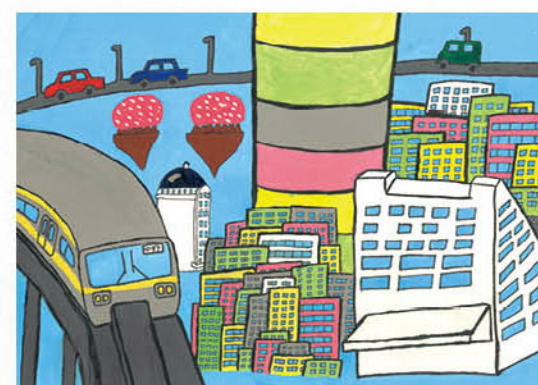
「10年後中野は大きい町」
中野区立北原小学校
小田桐 佑希



「未来の環七」
中野区立北原小学校
都築 悠太



「中野駅の未来」
中野区立北原小学校
仲尾 花恋



「中野×未来～中野サンプラザ&中野タワー～」
中野区立江原小学校
松野 峻平



「色いろタウン」
中野区立江原小学校
真野 穂香



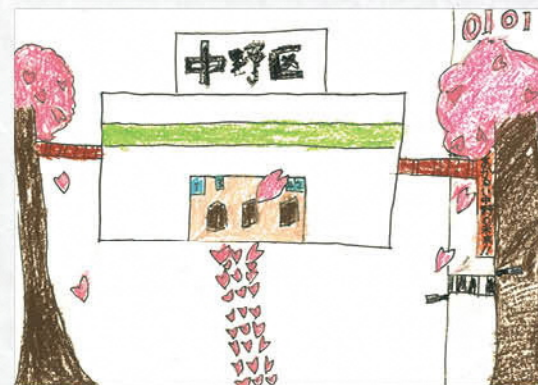
「トウルカルチュラル」
中野区立江原小学校
山田 成美



「中野の四季」
中野区立新井小学校
石田 聖佳



「優しい未来」
中野区立新井小学校
伊藤 翔琉



「未来の中野」
中野区立新井小学校
濱川 紗衣



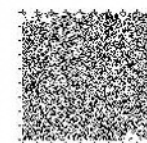
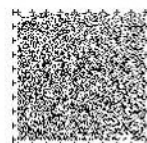
「人と人がきょう力し合える楽しいまち」
中野区立武蔵台小学校
神野 友希



「え顔いっぱいいろどりの町」
中野区立武蔵台小学校
澤井 彩菜



「みんながとおれるみち」
中野区立武蔵台小学校
霜鳥 虎太郎





「人々が集う自然豊かな町」
中野区立西中野小学校
阿部 史苑

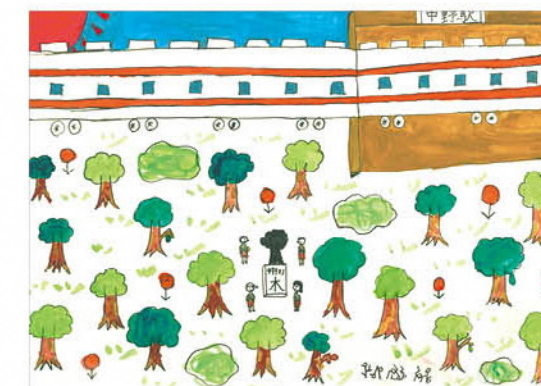


「安全で便利な町」
中野区立西中野小学校
生川 恵太郎

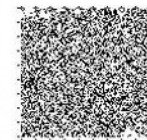
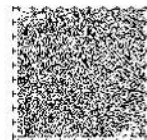
2 10年後に目指すまちの姿



「たくさんの人でにぎわう町」
中野区立西中野小学校
東村 佳乃子



「しぜんをゆうせんしたまち」
中野区立上鷺宮小学校
西垣 楓彩



中野区に住むすべての人々や、このまちで働き、学び、活動する人々にとって、平和で、より豊かな暮らしを実現するために、私たちは、次のことを大切にします。

- 中野の最大の財産は人であり、すべての人の人権と、あらゆる生き方、個性や価値観を尊重します。
- 人と人との交流やつながりを広げ、誰一人取り残されることのない安心できる地域社会を築きます。
- 互いに力を合わせる協働と、新たな価値を創造する協創を深めます。
- 一人ひとりが豊かな人生を歩むための新たなチャレンジを応援します。



「その色がかかった中野」
中野区立上鷺宮小学校
古木 誠人

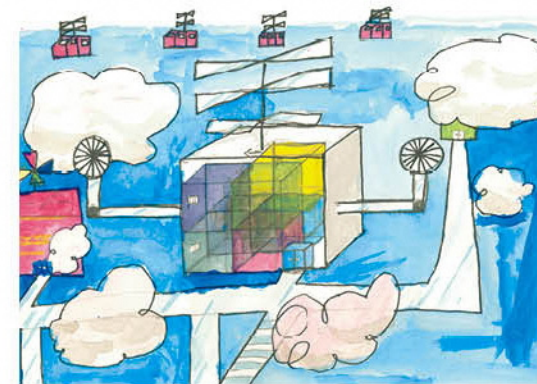


「中野が月にお引っ越し！」
中野区立桃花小学校
藤本 かれん

このことを私たちは大切にし、10年後に目指すまちの姿を描きます。

「つながる はじまる なかの」

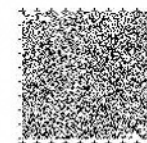
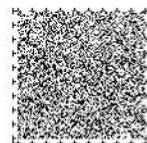
- (1) 人と人がつながり、新たな活力が生まれるまち
- (2) 未来ある子どもの育ちを地域全体で支えるまち
- (3) 誰もが生涯を通じて安心して自分らしく生きられるまち
- (4) 安全・安心で住み続けたいくなる持続可能なまち



「空飛ぶ中野」
中野区立桃花小学校
本田 響



「空色の町」
中野区立桃花小学校
横田 咲貴





「みんなの住みやすい中野」
中野区立桃園第二小学校
内田 響紀



「自然が多い中野〈森や野原の場面〉」
中野区立桃園第二小学校
高田 佳蓮



「色いろ 中野」
中野区立桃園第二小学校
高木 准之介



「中野区はふるさと」
中野区立谷戸小学校
麻生 露那



「未来の中野」
中野区立谷戸小学校
齊藤 隼平



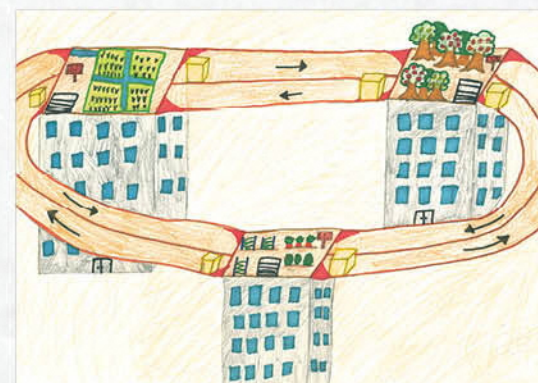
「緑のある街」
中野区立谷戸小学校
武田 桔伶



「にぎやかな未来」
中野区立塔山小学校
伊東 拓真



「人々がくらす町と空」
中野区立塔山小学校
門松 陽斗



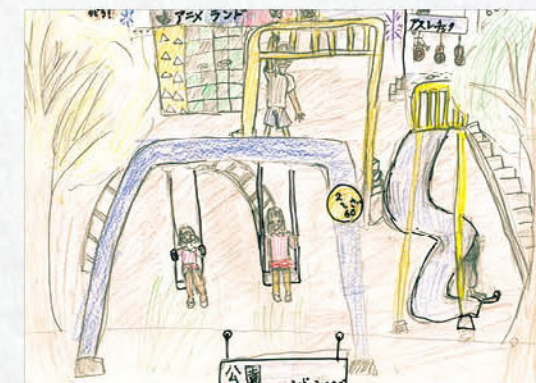
「マンションと自給自足の暮らし」
中野区立塔山小学校
田中 凜和



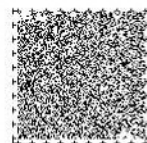
「遊歩道がついた中野区」
中野区立江古田小学校
海老原 利織



「すてきな町にするために」
中野区立江古田小学校
内田 侑里香



「幼稚園児も楽しく遊べる公園」
中野区立江古田小学校
木村 理乃



(1) 人と人がつながり、 新たな活力が生み出されるまち

つながりは、安心、発想、活力の源です。様々な国籍や価値観を持った人々が集まる中野の特性を生かし、人と人とのつながりや地域への関心と参画、自治の営みを広げ、地域への愛着を生み出していきます。さらに、新たなにぎわいの拠点を形成し、まちの活力を高め、中野に暮らし、訪れる楽しさを、まち全体に、そして東京や日本全体、そして世界へと広げていきます。

◆多様性を生かし新たな価値を生み出します

国籍や文化、年齢、障害、性別、性自認や性的指向などにかかわらず、誰もが地域の一員として安心して暮らし、地域の特色や今までにない新たな価値が生まれています。

◆地域愛と人のつながりを広げます

ライフスタイルや関心に応じて、場所や時間を選ばず気軽に地域で関わりを持てるような、ゆるやかなつながりが広がり、それぞれの個性を生かし、地域の課題を住民同士が協力しながら解決しています。

◆遊び心あふれる文化芸術をまち全体に展開します

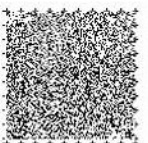
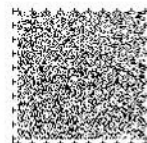
まち全体を舞台に、中野ならではの伝統・文化や豊かな発想から生まれる遊び心ある活動が広がり、誰もが身近に親しみ、表現できる環境が整うことで、多くの人々が訪れ、にぎわいにあふれています。

◆地域経済活動を活性化させます

区内産業の持続的な発展や新たな企業の参入などにより、区民の生活をより豊かにする商品・サービスが生まれ、地域経済が活性化しています。商店街は、多彩な社会的役割を果たしつつ、より魅力あるものとなっています。

◆東京の新たな活力とにぎわいを世界に発信します

都市機能が集積し、回遊性が向上した中野駅周辺は、多様な経済・文化活動が行われ、区全体を持続可能な活力あるまちへとけん引するとともに、東京23区の西部における新たな活力とにぎわいのシンボルとして、世界に発信されています。



(2) 未来ある子どもの育ちを 地域全体で支えるまち

子どもたちは、未来に向けて、チャレンジしながら成長しています。子育て家庭は、地域社会に支えられ、安心して子育てをしています。子どもの育ちを、未来の希望として、地域全体で支えるまちを築いていきます。

◆子どもの命と権利を守ります

子どもたちは、一人の人間として尊重されています。虐待の防止や学びの支援など、すべての子どもの命と権利を守る体制が整っています。

◆社会の変化に対応した質の高い教育を実現します

良好な教育環境の中で、子どもたちは、自分と他者を大切にするとともに、より良く生きる力を身に付けています。学校や幼稚園、保育園などの円滑な接続や交流が行われ、家庭や地域と連携し、協働しながら、特色のある教育が生まれています。

◆まち全体の子育ての力を高めます

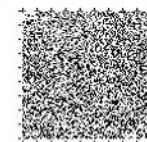
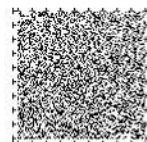
様々な人や団体の活動の活性化により、まち全体の子育ての力が高まっています。家庭の状況に応じた多様なサービスが提供され、安心して子どもを産み、育てられる体制が整っています。

◆子育て世帯が住み続けたいまちをつくります

子どもと子育て家庭にとって快適な住まいや魅力的な空間・施設などが整備され、住み続けたいと思えるまちづくりが進んでいます。

◆若者のチャレンジを支援します

若者は、幅広い交流や様々な活動の機会などを通じて、チャレンジしながら成長しています。一人ひとりの課題の解決に向けて支える体制が整っています。



(3) 誰もが生涯を通じて安心して 自分らしく生きられるまち

一人ひとりに違いがあることは、特別なことではなく、当たり前前のことです。ますます高齢化が加速する中で、病気や障害があっても、いくつになっても自分らしく生きられるまちをオール中野で築いていきます。

◆人生100年時代を安心して過ごせる体制を構築します

高齢者が、地域のつながりやICT*の活用による見守り・支えあいと、公的サービスをはじめとした包括的な介護・福祉サービスや医療に支えられるとともに、最期まで自分らしく生きることができるオール中野の体制が整っています。

◆生涯現役で生き生きと活躍できる環境をつくります

いくつになっても、就労や趣味、社会貢献など、社会とのつながりを通じて、第2、第3の生きがいを見つけ、生涯現役で生き生きと活躍しています。

ICT：情報通信技術「Information & Communications Technology」の略称。情報やデータを伝達する技術及びそれらの技術が要素技術として組み込まれている技術のこと。従来の「IT」の意味合いに加え、ネットワーク通信による情報・データの共有等コミュニケーション性、双方向性が加味された技術。

◆誰一人取り残されることのない支援体制を構築します

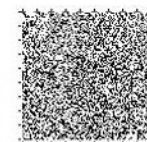
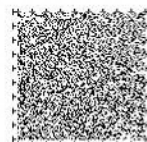
障害や生活困窮、生活上の複合的な課題などを抱えている人が、適切な相談や支援につながり、誰一人取り残されることのない体制が整っています。

◆誰もが自分らしく輝ける地域社会を形成します

障害や認知症の有無など本人が置かれている状況にかかわらず、個々の特性や強みを生かした就労や社会参画、様々な交流や活動などを通じて、自分らしく輝いています。

◆生涯を通じて楽しく健康に過ごせる環境をつくります

中野で暮らすうちに自然と健康的なライフスタイルが身に付く環境が整うとともに、子どもから高齢者まで、自分が関心のある運動・スポーツや学びなどに楽しみながら取り組んでいます。



(4) 安全・安心で住み続けたい 持続可能なまち

まちづくりは、人と人、歴史と未来をつなぎ、安全・安心とまちの魅力を形づくるものです。
地区の特性に応じて、あらゆる災害に強く、犯罪や事件・事故がなく、いつまでも住み続けたい
なる持続可能なまちを、多様な主体の協働により築いていきます。

◆災害に強く回復力のあるまちづくりを進めます

防災まちづくりの推進や地域の防災力の向上などにより、被害を最小限にとどめ、早急に復旧できる
回復力のあるまちづくりが進んでいます。

◆時代の変化に対応したまちづくりを進めます

地区の特性に応じたまちづくりや連続立体交差事業*の進展などにより、駅周辺を核としたまちの
安全性・快適性・利便性が向上し、時代の変化に対応したまちづくりが進んでいます。

連続立体交差事業：市街地において道路と交差している鉄道を一定区間連続して高架化又は地下化することで立体化を行い、多数の踏切の除却や
新設交差道路との立体交差を一挙に実現する都市計画事業のこと。

◆快適で魅力ある住環境をつくります

居心地が良く歩きたくなるまちなか、魅力ある公園、多様な移動環境などが整備され、快適で魅力
ある住環境の形成が進んでいます。

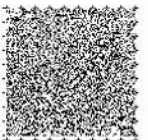
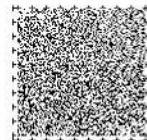
◆環境負荷の少ない持続可能なまちをつくります

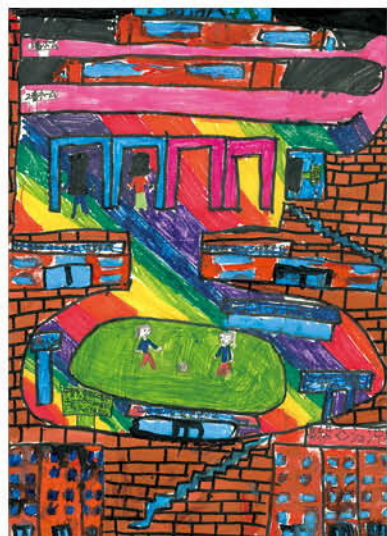
環境負荷の少ないライフスタイルや緑化推進などが、区民の生活や企業活動に浸透し、脱炭素*
のまちづくりが進んでいます。

◆安全・安心な生活環境と防犯まちづくりを進めます

関係機関・地域の連携により、犯罪や事件・事故がなく、良好な生活環境が保たれるとともに、区民
の防犯、消費生活、感染症などに関する意識の高まりや、行動の変化が生まれ、安全・安心な暮らしが
守られています。

脱炭素：二酸化炭素などの温室効果ガスの人為的な発生源による排出量と、森林等の吸収源による除去量との均衡を達成することにより、
二酸化炭素排出量を実質ゼロとすること。

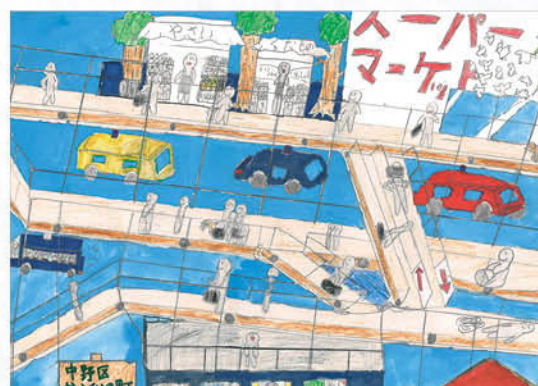




「中野駅前 空中広場」
中野区立白桜小学校
瀧川 紗綾



「お花ばたけの町！」
中野区立白桜小学校
久本 ふた葉



「中野区 からくりの町」
中野区立白桜小学校
町田 悠樹



「カラフル区役所」
中野区立平和の森小学校
瀬川 碧



「ニュー風力発電中野サンプラザ」
中野区立緑野小学校
天津 一伽



「しぜんや生きものを大切にするまち」
中野区立緑野小学校
手塚 愛桜



「てんとうむし形ドローン」
中野区立平和の森小学校
青柳 花緒



「みどりがいっぱい」
中野区立平和の森小学校
安藤 優里



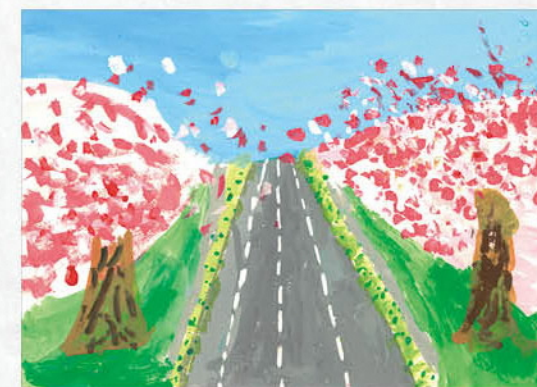
「ようせいたちとカラフルな未来の中野森」
中野区立平和の森小学校
岡井 もなみ



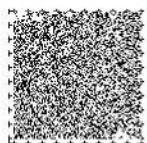
「はらっぱ図書館」
中野区立緑野小学校
早川 芽生



「地下化された未来の沼袋駅」
中野区立南台小学校
伊藤 寛



「未来の中野通り」
中野区立南台小学校
岡本 陽太





「みらいレインボー」
中野区立南台小学校
田中 里菜



「風車がある未来の中野」
中野区立南台小学校
由利 菜穂

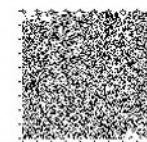
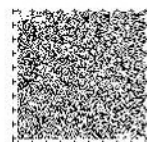
3 基本構想を実現するために



「未来都市 NAKANO」
中野区立みなみの小学校
細谷 大翔



「10年後の中野はやさしい中野へ!」
中野区立みなみの小学校
仲瀬 穂乃



目指すまちの姿を実現するため、次の原則を基本に区政運営を進めていきます。

◆区民に信頼される対話と参加の区政を進めます

区民への積極的な情報提供と、十分な説明責任を果たし、区政への参加を促し、意思が適切に区政に反映される機会を充実するなど、対話の区政を進めます。

◆職員力でまちの価値と地域の力を高めます

区職員は、地域に飛び出して、地域の抱える課題を見つけ出し、様々な主体との連携・協力により解決することで、ともにまちの価値と地域の力を高めます。

◆持続可能な財政運営を進めます

自立した自治体として、安定的な財政基盤を構築していくために、最少の経費で最大の効果を挙げる持続可能な財政運営を基本とし、客観的な根拠に基づく政策形成を進めるとともに、選択と集中による最適な資源配分と、着実な財源の確保に努めます。

◆社会の変化を見据えた質の高い行政サービスを提供します

不断の改善や改革を進め、組織横断的な課題にも柔軟に対応できる効果的・効率的な行政運営を実現するとともに、デジタル化を加速させながら、社会の変化を見据えた質の高い行政サービスをすべての人に迅速に提供します。

◆危機の発生に備えた体制を強化します

自然災害や感染症などの危機の発生時においても区民の生命・健康・財産が守られるよう、リスク管理や危機管理を徹底し、区民生活に密着する行政サービスの提供を維持するための仕組みと機能を強化します。



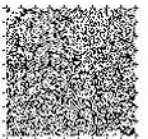
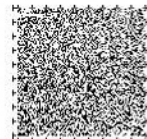
「桜と銀杏に囲まれて」
中野区立啓明小学校
木村 紫



「笑顔のたえない未来へ」
中野区立みなみの小学校
浅川 もも



「our home town NAKANO」
中野区立第二中学校
絵画部





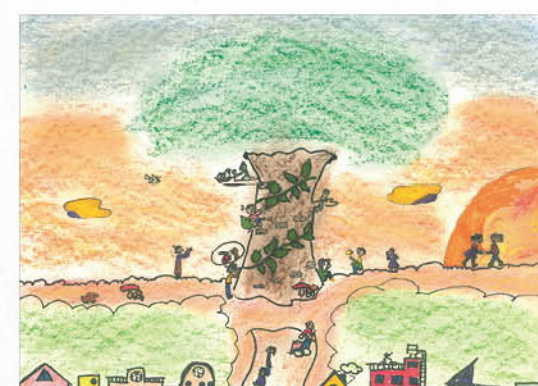
「大切な人とのんびりすごせる街」
中野区立美鳩小学校
服部 ひなの



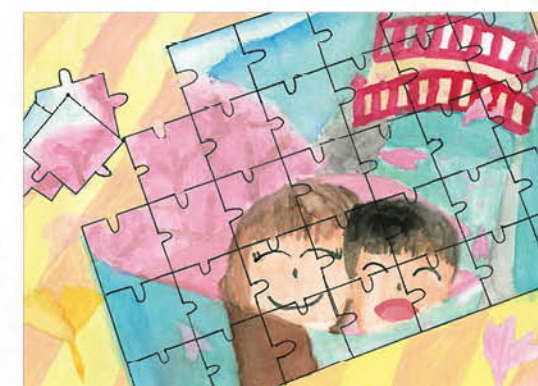
「ロボットと共に生きる街」
中野区立美鳩小学校
山川 和己



「未来の公園」
中野区立中野第一小学校
朝野 憩



「思いやりいっぱい街」
中野区立美鳩小学校
飯村 理世



「私たちの笑顔がはじけるこの街」
中野区立啓明小学校
丸山 真緒



「うれしいしらせ」
中野区立中野本郷小学校
近馬 寿希



「自然と一緒に」
中野区立中野第一小学校
中谷 りこ



「むりょうかし出しかさ立てがある未来のまち」
中野区立中野第一小学校
横坂 心音



「桜並木と西武線」
中野区立啓明小学校
小川 航平



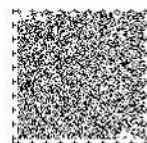
「進化中野」
中野区立中野本郷小学校
弓削 海璃



「ゆかいな中野」
中野区立中野本郷小学校
和田 愛斗



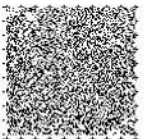
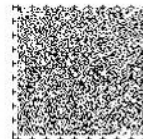
「帰り道」
中野区立第四中学校
美術部2年生



中野区基本構想の改定の経緯

2018年 10月	基本構想の改定方針の公表 基本構想の改定方針を作成し、改定に向けた検討を開始。
2019年 4月	- 中野区基本構想審議会の設置 総合的、専門的な見地から意見を聴くために、区民や有識者等を構成員（39名）として設置。全体会を4回、自治・共生・活力部会、子育て・教育部会、健康・医療・福祉部会、都市・防災・環境部会を各5回開催。 - 職員プロジェクトチームの設置 職員からの幅広い意見を集約するため、職員プロジェクトチームを設置。 - 基本構想に対する区民アンケートの実施 区民にアンケートを実施（321名回答）。
5・6月	区民と区長のタウンミーティングの実施 基本構想をテーマとして、グループディスカッションを4回実施。
6月	区民と職員のワークショップの実施 区民（37名参加）とグループディスカッションを実施。
10月	中野区基本構想審議会答申 約半年にわたる審議を経て、基本構想審議会から答申を受領。

2020年 1月	中野区基本構想検討素案の公表 基本構想審議会からの答申等を踏まえ、検討素案を作成。
2月	検討素案に関する意見交換会等の実施 意見交換会を1回実施。あわせて、関係団体や区民から意見を募集。（8回実施予定であったが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため残り7回は中止）
10月	中野区基本構想改定検討素案の公表 区議会、意見交換会、関係団体等からの意見や新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえ、検討素案の内容を見直し、改定検討素案を作成。
10・11月	改定検討素案に関する意見交換会等の実施 意見交換会を8回実施。あわせて、関係団体や区民から意見を募集。
12月	- 中野区基本構想検討案の公表 区議会、意見交換会、関係団体等からの意見を踏まえ、検討案を作成。 - 検討案に対するパブリック・コメント手続の実施
2021年 1月	中野区基本構想文案の公表 議会やパブリック・コメント手続により提出された意見を踏まえ、基本構想文案を作成。
3月23日	中野区基本構想の改定 令和3年第1回中野区議会定例会において可決され、改定。

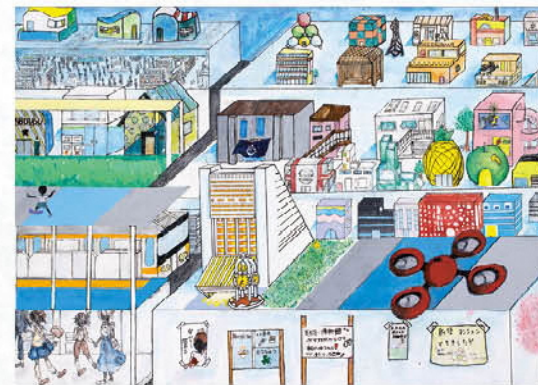




「爽秋の曙」
中野区立第五中学校
美術部3年生



「ミ・ラ・イ」
中野区立第八中学校
天野 星那



「Our Home Town」
中野区立中野中学校
美術部



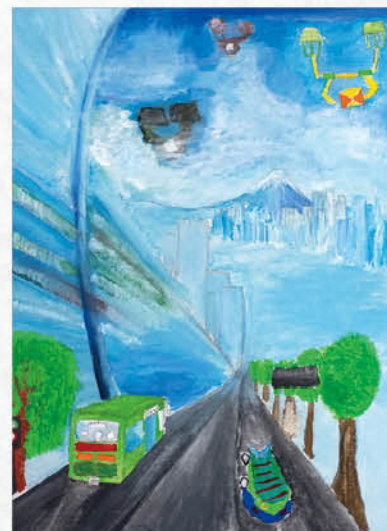
「私たちの未来予想図」
中野区立中野東中学校
美術部



「四季」
中野区立第七中学校
七中有志



「新しい時代テクノロジーと共に〜プロ
ジェクションマッピングでにぎわう中野」
中野区立南中野中学校
美術部2年生



「未来の中野」
中野区立緑野中学校
美術部



「子供の夢」
中野区立北中野中学校
美術部

なかのく 中野区ホームページで外国語版の
がいこくごばん
なかのく きほんこうそう み
中野区基本構想を見ることができます。

英語 Nakano City General Plan

<https://www.city.tokyo-nakano.lg.jp/dept/101500/d030745.html>



中国語繁体字 中野區基本規劃

<https://www.city.tokyo-nakano.lg.jp/dept/101500/d030748.html>



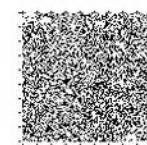
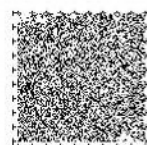
中国語簡体字 中野区基本规划

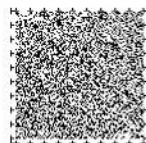
<https://www.city.tokyo-nakano.lg.jp/dept/101500/d030747.html>



韓国語 나카노구 기본 구상

<https://www.city.tokyo-nakano.lg.jp/dept/101500/d030749.html>





おんせい
音声コード ユニボイスについて

この冊子には、各ページに音声コードが印刷されています。
スマートフォン専用アプリ等を使うと、紙面の情報を音声で
聞くことができます。

なかのくきほんこうそう
中野区基本構想

令和3年(2021年)10月発行

中野区 企画部 企画課

〒164-8501 東京都中野区中野四丁目8番1号

電話 03-3389-1111(代表) ファクス 03-3228-5476

<https://www.city.tokyo-nakano.lg.jp>